

『一生懸命』幻の新座市議会報告第146弾!



たかむらともや

③ 自己責任と事故責任

某国の某復興担当大臣が、福島から「自主避難」している人達に向かって、「自己責任」という言葉を吐き出しました。福島第一原発の「事故責任」は彼らにはありません。「事故責任」は国と東電にあります。あの「事故」がなければ、愛する故郷を捨てる人はいなかったのです。原発の「事故責任」は誰もとらず、安全を考えて自主避難する人達に向かって「自己責任」。そのどこが復興担当なのか!

某国の未来が暗いのは、人相の悪い複数の国務大臣が存在していることです。今の自民党は腐りきっています。僕の父は自民党を応援していました。特に父が尊敬し、選対部長として応援していた魚津中学の先輩、住栄作は自民党の法務大臣でした。その二人が今の自民党を見たら、本当にがっかりするでしょう。そして、怒るに違いありません。

父、高邑新太郎も住栄作も陸軍・海軍で国のために命懸けで戦い、戦後は国の為に、弱い人達の為に自分の人生を捧げてきたからです。

「沖縄」を無視し「広島・長崎」を無視し、「福島」を無視するような安倍内閣。彼ら自民党はこれからも「弱者」を無視し続けていくでしょう。

「消費税」「働き方改革」「共謀罪」「農協改革」「種苗法廃止」「介護保険改正」「こども保険」なども、弱者の為ではなく、強者(グローバル産業や米国、金持ち)の為の改革だと考えるのが普通です。

それにしても、自民党の法務大臣の答弁は酷すぎです。勉強をしないで、ふんぞり返っていると、ああいう醜態を全国民に見せることになるのです。



2017年4月30日発行



4月の川掃除は16日に無事終わりました。川の中から大量のゴミと自転車2台とザリガニ1匹を捕獲しました。(笑)5月は21日(日)の予定です。③

たかやんのプロフィール



1954年2月、東京青山生まれ。新宿区立西戸山中学校、都立石神井高校卒。北海道大3年の時に、突然教師を目指しはじめ、無理やり教職の単位を取る。小学校時代のあだ名は「たか」超悪ガキで、成績も悪かった。

今のあだ名は「たかやん」(そう呼んでくださいね)

左の写真は4月16日に行われた「市民とかたる会の議会報告会」で俊さん(木村俊彦)とのツーショット。

この3月議会での今年度予算について、我々の視点からその問題点を語りました。

最近、小中学生の子どもたちと一緒に世界地図で国名とその場所を覚えることに夢中になっている。

趣味のテニスと炭水化物オフの食事で血糖値を下げようと、日々努力している。

町内会にもPTAにも入らず、「町内会弱者」「PTA弱者」の立場で発信を続けている。無謀にも駅で会う方達の名前を覚えようとしている。駅でお会いする方へ。名刺、感想メールなどを頂けると嬉しいです。よろしくお願いします。

たかやん ③

たかやんの応援団 で 検索



たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 4月

4月が好きです。五中・六中・二中での21年間はずっと担任でしたが、新しく出会った子どもたちの名前を最初の一日で覚えるのが好きでした。

始業式(入学式)の日に全員の名前と顔を一致させる・・・それが「担任の一番大切な最初の仕事だ。」と、今でも思っています。僕はクラスの子どもたちを苗字で呼んだことはありません。子どもたちが下の名前と呼ばれる方が嬉しいのを知っていたからです。だから、自分のクラスの子は下の名前で呼んでいたのです。

覚えたら、授業で直ぐに使います。手を上げさせるのではなく、「千春」「文夫」「智」「賢二」と名前を呼んで、どんどん指していきます。そうすれば手を挙げられない子も発言のチャンスがきます。そうすると授業に緊張感がでてきます。

いい授業には適度の緊張感とリズムが大切です。
”提出物を出さなかったり、手を上げないと内申が下がるんだ”子どもたちが物騒なことを言います。

あくまでも僕の場合ですが、評価は全て「テストの点数だけ」でつけていました。「テストの結果だけで評価をつけるよ。平均で90点以上取ったら、誰でも5だ！」と最初の授業でそう宣言していました。それが絶対評価というものです。授業態度も生活態度もどうしても自分の主観が入ります。教師の好き嫌いで、子どもたちの内申が左右され、子どもたちの人生が左右されるのではたまりません。だから、テストの結果だけで評価していたのです。

問題集を提出をさせることに意味はありません。問題集の答えを教師が保管してはいけません。教師の仕事は、色々な問題集やった子どもたちの質問に答えることです。それで教師にも力がつきます。能力が違う子どもたちに同じ課題を宿題にしたのでは、伸びるものも伸びません。

「内申」を口にして、生徒指導をするのは邪道です。教師のやることではありません。子どもたちは好きな先生の言うことは聞くものです。「内申」で脅す教師は、自分には力がないと自分で言っているようなものです。そのことを若い先生たちに伝えたいと思います。子どもたちにも先生たちにも、伸び伸びとした学校生活を送って欲しい。そして、伸びて欲しい。そう思っています。

③ ありがとう・・・

この「一生懸命」を読んで、メールや手紙を下さる方が多くなってきました。その内容も色々です。応援メール、この内容はちょっと・・・、今度飲みましょう！町内会のこと、PTAのことでの相談。そして、勿論、学校のこと。(驚く内容もありますが・・・)

どのメールもとっても嬉しく読んでいます。ありがとうございます。昔「一生懸命」という幻の学級通信を発行していた時も、返信があると嬉しくて、嬉しくて・・・調子に乗って書いたものです。

駅でも「グリッド読みました！すごくよかった！」「アドラーの心理学読みましたよ。ありがとう」「他の市ですが、いつも楽しみにしています」と直接言ってくくださる方が複数いて、本当に嬉しかったです。ありがとうございます。

さて、ひばりが丘北口と清瀬北口の方はお気づきかと思いますが、立ち位置が変わりました。ど真ん中は渡すほうとしては都合のいい場所なのですが、「狭い通路では貰いたくない人には邪魔臭い場所だ」と思いますよ。」とアドヴァイスを頂いたのです。

立ち位置を変えたお陰で、教え子達が階段を上がっていく後ろ姿を見ることができるようになりました。「行ってきましたーす！」と言って、元気に階段を昇っていく後ろ姿に「行ってらっしゃい！」「がんばれー」「気をつけてね！」と声を掛けられるようになったのです。アドヴァイスありがとうございました！



大学を卒業して五中2年目、24歳の僕です。3年生の後の1年生の子どもたちは「天使」のように見えました。後ろの真ん中の子が祐二です。3年間、僕の理科の授業で一度もノートを取らずに、「5」をとり続けた子です。教え子の中で、今一番会いたい子の一人です。祐二！会いたいよ！



読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(_ _)m